

2009年12月1日

臨時の金融政策決定会合による金融緩和の強化について

社団法人 経済同友会
代表幹事 桜井正光

1. 臨時に招集された金融政策決定会合についてはやや唐突な印象が否めないものの、今回の決定を通じて、持続的な物価下落や円高などの情勢変化に対応し、日本経済が持続的成長経路に復帰することを期待したい。
2. なお、すでに極めて緩和的である金融環境を鑑みれば、金融政策の効果には限界がある。鳩山政権には、日本銀行による金融緩和政策と歩調を合わせ、規制改革等の民間企業の事業活動を促すような政策の実施を求める。
3. 併せて、各企業は、民の活力こそ経済成長の源泉であるとの認識の下、今回の措置を活用し、積極的な事業活動に取り組むことを期待する。

以上